

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善を！

国立教育政策研究所のHPには、「**結果分析**」から「**授業改善・充実**」に向けた取組へのヒントがたくさんあり、ダウンロードもできます！

◇ 8月20日、21日に開催の「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会（ウェブ形式）」の説明資料等及び説明動画



- ・「(4)説明資料」で説明資料の、「①質問調査結果について」「②IRT 関係について」「③データの活用について」「④中学校 理科」「⑤小学校 理科」「⑥小学校 国語」「⑦中学校 国語」「⑧小学校 算数」「⑨中学校 数学」を見ることができます。
- ・説明動画が、9月下旬にアップされる予定です。

◇ 令和7年度全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料

〔結果（概要）、結果（概要）のポイント、各調査の報告書、調査結果資料 他〕



学校では・・・

調査問題を対象学年の先生方だけでなく、他の先生と一緒に解いてみる。そして、**解説資料**や**報告書**等を参考にしながら、どのような力が必要なのか考える。

調査実施後、児童生徒の解答を自校で確認する。その際、解説資料を参考にしながら、児童生徒の解答状況を把握し、**弱点・つまずき**を捉える。

調査問題や解説資料、報告書、**報告書の「授業アイデア例」**を参考にして、授業で扱う教材づくりや学習の成果を評価するための問題づくりを行う。

解説資料や報告書の「学習指導に当たって」を参考にして、指導計画の改善・充実を図る。

校内での授業研究において、調査問題に関連した課題を取り上げる際、解説資料や報告書等を参考としながら全国学力・学習状況調査との関係を学習指導案に明記する。

「説明会資料(4)説明資料③データの活用について」において、児童生徒の弱点・つまずきを見つけるための方法を紹介！

G P分析図で見られた特徴を踏まえた授業改善例を紹介！

ポイントを端的に表現！

国立教育政策研究所「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会(3)参考資料」より

島根県の結果概要については、EIOS からダウンロードできます。

〔教科に関する調査の結果、児童生徒質問・学校質問調査の結果、今後の取組などを見ることができます。〕



1人の100歩よりみんなの1歩になることを考える

～ [I332]「校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座」(6月5日)～

今年度、校内の情報化を進めたいリーダー教員向けの研修を新設しました。

京都教育大学の**大久保紀一郎先生**をお迎えし、学校教職員全員で情報化を進める1歩を踏み出すためのリーダーとしての役割について考えました。

【受講者アンケートより】

○学習指導要領が目指す学びの再確認

- ・子どもたち自身が自らの課題を発見し、自ら学びを調整することが大切であるということを理解した。
- ・今求められている力を意識した教材研究と単元計画が大事だと感じました。

○校務や授業でクラウド環境を利用できるような働きかけ

- ・他教職員との会話を重視し、全体として、また個人として何に困っているのかを知る必要がある。
- ・時間短縮や情報共有のしやすさにつなげ、教職員がゆとりをもって働けるようにしたい。
- ・取り掛かりやすそうだったものを作り、他の教員に紹介することで、普及を図りたい。